

第 24 回滋賀県障害者技能競技大会

木工競技課題

次の注意事項及び使用に従って、課題図に示す作品を作成しなさい。

1. 競技時間

標準時間 3 時間 打切り時間 3 時間 30 分

2. 注意事項

- (1) 使用工具及び使用機械は、「使用工具一覧表」に示すものに限る。
- (2) 支給材料の寸法及び数量は、「4. 支給材料」に示すとおりである。
- (3) 支給材料に異常がある場合には、申し出ること。
- (4) 支給材料は材料の欠陥のない限り、再支給しない。但し、仕損じにより材料交換をしないと課題が完成しない場合には、材料交換を行う。その場合には、減点対象とする。
- (5) 競技中は、工具の貸し借りを禁止する。
- (6) 競技時の服装は、競技に適したものであること。
- (7) 標準時間を超えて打切り時間内で競技を終了した場合は、超過時間に応じて減点とする。
- (8) 競技が終了したら競技委員に申し出ること。

3. 仕 様

- (1) 墨付け用型板、位置決め用の定規など、「使用工具一覧表」に示していない型板、ジグ類は使用できない。
- (2) 底板部分の段欠きは、競技委員がハンドルータを使用して行い、角さらいは競技者自身が行うものとする。
- (3) 箱側板は、すべて糸面取りとする。
- (4) 三枚蟻組み接ぎの組立には接着剤を用いる。

4. 支給材料

No.	部品名	寸 法 (mm)			数量	備考
		長さ	幅	厚さ		
1	箱側板	350.3	65.5	12.3	2	無節材
2	箱側板	250.3	65.5	12.3	2	無節材
3	箱底板	341	241	4	1	合 板
4	鉄 釘	16			16	平頭（底板用）
5	接着剤				若干	木工ボンド 酢酸ビニール樹脂エマルジョン

使用工具一覧表

1. 競技者が持参するもの

NO,	品名	規格・寸法 (mm)	数量	備考
1	両歯のこぎり	240～270	1	替え刃式も可
2	胴付のこぎり	210～240	1	同上
3	ほそびきのこぎり	210～240	1	相当品も可
4	平 (手) かな	中・仕上げ	各 1	
5	切り面かな		1	
6	追 (大) 入れのみ	9～36	適宜	
7	突きのみ	9～24	適宜	
8	ものさし	600 程度	1	さしがね・スケール (鋼尺) コンベックススケールも可
9	直角定規 (スコヤ)	200 程度	1	大矩又は木矩も可
10	蟻定規	蟻角度 72° ～75° のもの	1	
11	自由定規		1	
12	挽き当て定規	直線胴付きびき用	1	
13	白書き		1	
14	筋けびき		1	
15	直角木口台	300×300 程度	1	
16	玄のう	小・中	各 1	
17	釘締め		1	
18	釘抜き	パール (長さ 150mm程度)	1	
19	打ちあて	クランプ用のあて木にも使用	適宜	
20	端金	450 2 本組	2 組	
21	きり (手もみ)	四つ目きり	1	釘打ちの位置決め用
22	鉛筆		適宜	墨付け用
23	消しゴム		1	
24	のりべら		1	ブラシも可
25	座ぶとん		1	毛糸等敷物

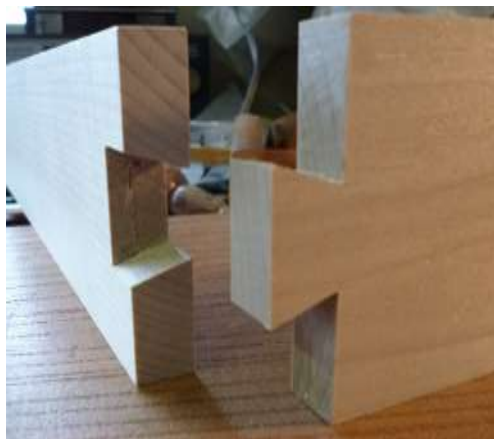
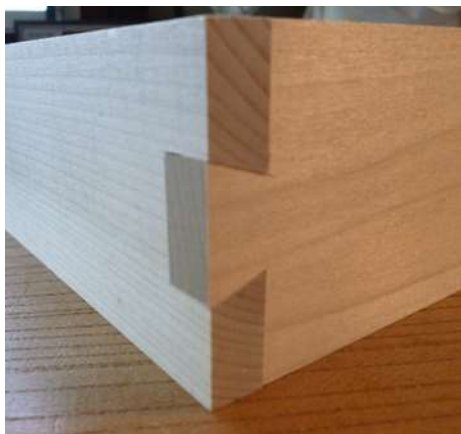
- 注 1 同種のものについては、予備工具を持参してもよい。ただし、同種の中は 3 個以内とする。
- 注 2 一覧表に記載されていても、競技者が必要ないと判断した工具については、持参しなくてもよい。

2. 競技会場に準備してあるもの

NO	品名	規格・寸法 (mm)	数量	備考
1	作業台	1800×900×H720	各 1	
2	椅子		各 1	
3	摺り台	1000×100×30 程度	各 1	
4	L 型クランプ	210mm/270mm 2 本組	各 1	
5	バケツ		各 1	
6	ウエス		各 1	
7	ボンド刷毛		各 1	
8	ハンドルレータ		1	

注1 上記品については、使い慣れたものを使用してもよい。

三枚蟻組継ぎの例



蟻定規の例



自由定規の例



課題図 (箱部分)

